

平成30年度 社会資本整備総合交付金事業公共下水道管渠埋設工事（2工区）（町単独分）

数量計算書

平成 30 年 12 月

管径 路線番号

φ200 箕輪町 三日町 田中城地区 町道506号線(開削)

778-4

L= 17.00 m

建て込み簡易土留め工

(L = 2.50 m)

(軽量型)

1) 設計条件

1. 管 径 200 mm 2. 管 種 リブ付塩ビ管 3. 施工延長 17.00 m
4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.95 m 6. 掘削深 2.12 m
7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 17.00 m
9. トラッククレーン規格 4.9 t吊り

日数算出根拠 17.00m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L × W × H) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = (2.12 - 1.00) m \times 0.95 m \times 17.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.31 日 \textcircled{1}$$

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = (0.23 \div 10.00 m) \times 17.00 m = 0.39 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+② : 0.70 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$基礎土量 = (0.95 m \times 0.406 m - 0.033 m^2) \times 17.00 m = 6.00 m^3$$

$$(D3) = 6.00 m^3 / 36.0 m^3/日 = 0.17 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) (管 種 : リブ付塩ビ管)

$$(D4) = 17.00 \times 0.020 人/ m/日 = 0.34 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛 I-11-①-17)

$$埋戻し土量 = 17.00 m \times (2.12 m - 1.406 m) \times 0.95 m = 11.53 m^3$$

$$(D5) = 11.53 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.32 日 \textcircled{5}$$

工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	0.70		0.70
基 礎 工	0.42	0.59	0.17
管 布 設 工	0.59	0.93	0.34
引抜き及び埋戻し工	0.79	1.11	0.32
水 替 え 工			0.51

$$損 料 日 数 計 = 17.00 m \div 17.00 m \times 1.11 日 = 1.11 日 \times 1.3 = 1.44 \approx 1 日$$

$$水 替 日 数 計 = 17.00 m \div 17.00 m \times 0.51 日 = 0.51 日$$

$$全 体 日 数 = 17.00 m \div 17.00 m \times \text{日}$$

(汚水柵及び取付管工集計表 砂利道 土留)

平成30年度 社会資本整備 公共下水道管渠埋設工事 2 工区 (町単独分)

名 称	規格寸法	計 算 式	数 量	名 称	規格寸法	計算式	数 量
鉄蓋(内蓋共)	重車用	取付管数量調書より	組	掘 削 工	油圧式0.20m3級B.H	2.97×1	3.0 m ³
鉄蓋(内蓋共)	軽車用	取付管数量調書より	1 組	砂基礎工	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.59×1	0.6 m ³
標 準 蓋		取付管数量調書より	個	発生土 埋戻工管頂10cm~30cm	洗砂(投入機種0.20B.H)	0.35×1	0.4 m ³
汚水柵(三方向流入タイプ)	横型 φ200-150×100	取付管数量調書より	1 個	埋 戻 工	碎石(支給品) 運搬4km		m ³
汚水柵(三方向流入タイプ)	縦型 φ200-150×100	取付管数量調書より	個	埋 戻 工	良質土		m ³
ゴム製可撓支管 (コンパクト支管)	RVR φ200mm × φ150mm(90°)	取付管数量調書より	1 個	埋 戻 工	発生土	1.92×1	1.9 m ³
支管取付工	φ200mm × 150mm	取付管数量調書より	1 箇所	残土処分工	一般土砂	0.45×1	0.5 m ³
自在曲管	SR φ150mm × 45°~60°	取付管数量調書より	2 個	As舗装切断工	t<20cm		m
曲 管	SR φ150mm × 90°(ST)	取付管数量調書より	個	舗装版取壊工	アスファルト		m ²
可撓継手	φ150mm用	取付管数量調書より	組	As殻処分工	油圧式0.35m3級B.H t=10cm迄		m ³
プレーンエンド直管	φ150mm L=4m		m	路面補修工	CR25-0 t=10cm		m ²
プレーンエンド直管	φ200mm L=4m	1.32	1.32 m	表 層 工	町道アスファルト舗装 t=4cm		m ²
取付管布設工	φ150mm	$2.21 \times 1+0$	2.21 m	上層路盤工	M25-0 t=10cm		m ²
取付管用片受け直管	φ150mm L=4m	$(2.21 \times 1+0) \div 4$	0.55 本	下層路盤工	CR40-0 t=25cm		m ²
				砂 利 道	CR40-0 t=10cm	0.74×1	0.74 m ²
				取 付 管 土 留 工	簡易土留 H=2.00	2.30×1	2.30 m

(取付管1箇所当たり数量計算調書 砂利道 土留)

平成30年度 社会資本整備 公共下水道管渠埋設工事 2 工区 (町単独分)

取付管数量調書より

官地部平均掘削延長L	1.30m
平均水路幅W1	
本管平均掘削幅B/2	0.48m
本管平均掘削深H	2.12m
平均汚水樹深H1	1.60m
取付管勾配i	20‰
宅地部平均掘削延長L7	1.00m
本管平均土被りh	1.814m
取付管延長L4 $\sqrt{(H3^2+L3^2)}$	$\sqrt{(0.214^2+2.20^2)}=2.21m$
樹土工本管側掘削深H4 $H2+L5 \times i$	$1.70+1.72 \times 20‰=1.73m$
樹土工平均掘削深H5 $(H2+H4)/2$	$(1.70+1.73)/2=1.72m$

種 別	計 算 式	計 算	数 量
掘削工	$(B4+B2)/2 \times (H5-H6) \times L1$ $+(B4+B3)/2 \times H5 \times (L7+0.1)$	$(0.900+0.900)/2 \times (1.72-0.00) \times 0.82+(0.900+0.900)/2 \times 1.72 \times (1.00+0.1)$	2.97 m ³
砂基礎工	$\{(B4+B5)/2 \times H12$ $-取付管断面積\} \times L6$	$\{(0.900+0.900)/2 \times 0.365-0.021\} \times 1.92$	0.59 m ³
発生土埋戻工 管頂10cm ~30cm	$\{(B5+B6)/2 \times H10\} \times L6$	$\{(0.900+0.900)/2 \times 0.20\} \times 1.92$	0.35 m ³
碎石埋戻工 支給品 運搬 4km			m ³
良質土埋戻工			m ³
発生土埋戻工	$(B6+B7)/2 \times H9 \times L1$ $(B6+B3)/2 \times H11 \times (L7+0.1)$	$\{(0.900+0.900)/2 \times 1.055\} \times 0.82+(0.900+0.900)/2 \times 1.155 \times (1.00+0.1)$	1.92 m ³
残土処分工	掘削工-発生土埋戻工/0.9	$2.97-(0.35+1.92)/0.9$	0.45 m ³
As舗装切断工			m
アスファルト 舗装版取壊工			m ²
As殻処分工			m ³
路面補修工			m ²
表層工			m ²
上層路盤工			m ²
下層路盤工			m ²
砂利道	$(B2+B8)/2 \times (L1-W1)$	$(0.900+0.900)/2 \times (0.82-0.00)$	0.74 m ²
取付管 土留工	簡易土留 H=2.00		m
		1.30 + 1.00	2.30

建て込み簡易土留め工 取付管用

(L = 2.00 m) (軽量型)

1) 設計条件

- 1. 管 径 150 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 2.30 m
- 4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.90 m 6. 掘削深 1.72 m
- 7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 2.30 m
- 9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 2.30m当り

2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = (L × W × H) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = (1.72 - 1.00) m \times 0.90 m \times 2.30 m \div 59.00 m^3/日 =$$

0.03 日 ①

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = (0.20 \div 10.00 m) \times 2.30 m =$$

0.05 日 ②

掘削工合計日数 ①+②

0.08 日

3. 基礎工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = (0.90 m \times 0.365 m - 0.021 m^2) \times 2.30 m =$$

$$(D3) = 0.71 m^3 / 36.0 m^3/日 =$$

0.02 日 ③

4. 管布設工 (D4) (管 種 : 塩ビ管) (歩掛P93)

$$(D4) = 2.30 \times 0.012 \text{ 人/m/日} =$$

0.03 日 ④

5. 引抜き埋戻し工 (D5) (機 械 転 圧 部 分) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{埋戻し土量} = 2.30 m \times (1.72 m - 1.416 m) \times 0.90 m =$$

0.63 m³

$$(D5) = 0.63 m^3 \div 33.00 m^3/日 =$$

0.02 日 ⑤

工 程 表

工 種	日 数		日 数
	5	10	
掘削及び建て込み工	0.08		0.08
基礎工	0.07	0.09	0.02
管 布 設 工	0.08	0.11	0.03
引抜き及び埋戻し工	0.08	0.10	0.02
水 替 え 工			0.05

$$\text{損 料 日 数 計} = 2.30 m \div 2.30 m \times 0.11 \text{日} = 0.11 \text{日} \times 1.3 = 0.14 \text{日}$$

$$0.71 m^3 \text{ 水 替 日 数 計} = 2.30 m \div 2.30 m \times 0.05 \text{日} = 0.05 \text{日}$$

$$0.02 \text{ 日 ③ 全 体 日 数} = 2.30 m \div 2.30 m \times \text{日}$$

